

祝子川本流 ～ゴルジュ のち 香茸～

【報告者】H田

【日時】2018年9月24日(日帰り)

【天候】曇りのち雨

【参加者】O原、マサ、K田、H田

《コースタイム》8:30 大崩山登山口(祝子川登山口)→ 9:00 大崩山荘 → 9:15 入渓地点→15:30 詰め上げ→ 15:50 大崩山荘 →16:10 大崩山登山口 → 祝子川温泉美人の湯

《 報 告 》

天気予報は、曇りのち雨。好い方に外れることを願いつつ、夜明け前から現地に向かう。祝子川は憧れの沢。渓流内に転がる花崗岩の岩々は、巨大な白い陶器の芸術品がゴロゴロ転がっているかのよう。その間を青く透き通る水流がダイナミックに彩る。誰でも一度見たら忘れられないほどの美渓だと思う。今回のメンバーのうち初めてなのは私ひとり。2日前にみんなで合同ジムトレをしたものの、期待と妄想でドキドキだった。

祝子川の入渓地点までアクセスする登山道は、以前にも歩いたことがあった。ちょうど2年前の同じ時期に登山で訪れ、珍しいきのこ達(しかも食菌!)にときめいた記憶があり、目がついついきのこ目になる。いくつかビジュアル系きのこを見つけながら歩くうち、大崩山荘の少し手前の登山道脇で、衝撃的な光景を目の当たりにする。まさかの…きのこの大群生!しかし、そこは入渓前。お楽しみは沢帰りに取っておくことにし、小一時間歩いたところで入渓地点に着いた。

入渓地で各自装備を整える。予報どおり、曇り空で肌寒く、水は冷たい。私は短パンだったけど、みんなそれなりに着込んでいた。いよいよスタート。大きな岩々は、先の見通しが効きにくく、そのひとつを超えるだけでもアップダウンが大きい。ルートファインディングの段階で、これまで経験した沢とは全然違う感覚だった。ひと岩ずつ越えては、眼前の景色に魅入りながら、確実に進む。



美しいナメ



大滝



核心1



桃



ゴルジュ



核心3の空中アブミ!

第一の核心は、思ったより早く現れた。美しい大滝と、右岸の巻き（＝スラブ）の難所。マサさんが先頭でロープを持ち、アブミをセットして登ってくれた。問題は私。一步目の足はかかるけど、目標の手がかりに全く届く気配がない。情けないことにK田さんの肩を借りて、なんとか登る（一生足を向けては眠れませぬ）。その後は、崖を回り込んで懸垂下降で、滝の上流にドボン！

その直後。桃の形の岩を登り、さらに奥の高い岩へ登る。ここは、O原さんが見事なトライで桃に乗り、お助けロープで引き上げていただいた。

第二の核心は、かのゴルジュ！O原さん、K田さんの後に続く。実際に歩くと、想像していたよりも幅があり、突っ張っての移動がきつく距離が長く感じられ、一気に突破できず時間をかけてしまった。特にラストの水が吹き出す岩穴に飛び込む箇所では、先行したメンバーに引っ張り込んでもらえるにもかかわらず、踏み出す勇気が必要だった。そしてラストはマサさん。ゴルジュはすすい進んで来られ、最後の穴に引っぱり込むはずが、私とK田さんと二人掛かりで手を掴もうとトライするも、3回も失敗して押し流され…。いつもお世話になりっぱなしの先輩に対してこの仕打ち、誠に申し訳ござりませぬ！猛省しかないです!!（その次でなんとか無事引き上げ成功。）

そして息つくヒマもなく。第三の核心は今回最大の難所『空中アブミ』。「はい、ガンバ〜！」とお声かけいただいても、アブミだけでは登りきれず。結局、O原さんに引き上げていただくことに。事前のトレーニングの必要性を痛感する瞬間だった。

その後、再びゴルジュが現れ、最後の核心はゴルジュ後の登り。ここも先行して登ってくださったO原さんに、やっところ引き上げていただいた。

核心を抜けたところで、いつの間にか予報どおり雨が降っていることに気づく。途中晴れ間もなく、冷たい水流に長く浸かっている局面もあり、詰め上げる頃にはみんな寒くてブルブルになっていた。脱溪地点まで、どこを眺めても美溪づくしで、ハードだったけど見所がない場所は全くなく、惹き込まれるばかりだった。

そして下山路。行きに見つけたきのこの大群生は、なんと香茸！知る人ぞ知る、香り高く、地域によっては松茸より人気の超高級きのこ。私も直に生えてるのを見たのは、これが初めて。数株採取してお持ち帰り。沢もアプローチも収穫の多い沢旅となった。

* * * * *

今回、ご一緒くださったメンバーさん、色んな局面でお助けいただき、感謝です。

私自身にとっては、課題が明確になり、好い経験になりました。

後日。採取した香茸は、乾燥させ、炊き込みご飯にして美味しくいただきました。

《 今回のきのこ 》

コウタケ（香茸）

環 境●コナラなどの混生林。

時 期●秋。9～10月。

大きさ●径10～20cm

食 ●可食。

乾燥により香りが増す。

特 徴●傘は漏斗型で、ササクレ状の鱗片に被われる（中央部ほど大きい）。

灰白色。傘の裏は針状。



香茸（コウタケ）



香茸の炊き込みご飯

